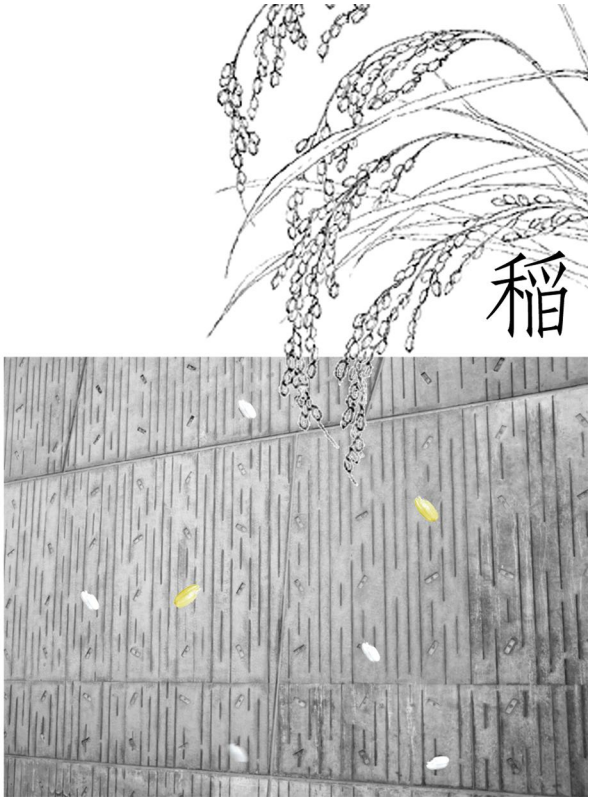
新潟市江南区文化会館　基本構想（コンセプト）

「水と土に育まれた文化を大切にし、江南区の新たな芸術・文化の創造と交流を図る」



基本構想のコンセプトより、江南区独特のデザインモチーフとして、亀田縞の縞模様や、壮大な大地より垂直に伸びる稲穂から零れ落ちる米、それを食する人間という生命の光を表現する様なデザインを、コンクリートへ投影する彫刻的デザインとし、地域の宝を、文化会館の構造的な壁としました。縞模様、及び、稲穂の垂直的な天に伸びるようなラインを、コンクリート（ノコ目地）の出目地として、又、躯体を打設する際に必要な、セパを、ランダム配置にすることで、稲穂から、溢れ出す様な米の躍動感のような物を表現しています。又、セパの穴を利用したＬＥＤにより、ほんのりの柔らかい光が、生命や、江南区の文化発展の新しい光として、市民を照らす事を地域の宝として表現しました。